

子ども多文化共生センター通信(テラたま通信)

Multicultural Children's Center News

第96号

発行元 子ども多文化共生センター Tel 0797-35-4537

発行日 2025(令和7)年10月2日(木)

ホームページ <http://www.hyogo-c.ed.jp/~mc-center/>



4月13日(日)に開幕した大阪・関西万博も10月13日(月)に閉幕します。2005年の愛知万博の来場者数(約2,205万人)を超えたということで、兵庫県から多くの人が訪れたことと思います。大変混雑の激しかった万博でしたが、来場者の皆様には、様々な国の様子や文化に多少なりとも触れる機会となったように思います。



(大屋根リングから見た光景)当課職員撮影



外国人児童生徒等に関する就学支援ガイダンスのご報告

今年度の就学支援ガイダンスは神戸会場、伊丹会場、加東会場、尼崎会場、姫路会場で実施し、トータルでは例年並みの参加がありました。ご協力いただきました市教育委員会や関係機関・団体のみなさま、ありがとうございました。 参加した外国人児童生徒等やその保護者は、兵庫県の公立高校の入試制度などについて熱心に聞き入っていました。進路について改めて考える契機になったようです。



6月13日(金)にサポーター交流会を実施したのよ。4名のサポーターに集まってもらって、日々の活動について情報交換を行ったの。それぞれの困っていることに対して別のサポーターがアドバイスをするなど、有意義な時間になつたわ。



6月14日(土)は県立国際高等学校、県立芦屋国際中等教育学校の文化祭に合わせて、サポーター交流会を実施したわ。みなさんから寄付していただいた各国の民族衣装や楽器等を展示したのよ。



引き続き、ポケトーク貸し出しています

88の言語に対応した自動翻訳機ポケトークの県内の公立学校(神戸市立除く)への貸し出しが可能です。これまでにいくつかの学校に利用していただき、スムーズな意思疎通に役立ったと感想をいただいております。ポケトークの貸し出しは原則2週間です(延長可)。当センターホームページに掲載している申請書にご記入の上、直接お越しになるか、メールでお送りください。なお、**ポケトークの送料は往復ともご負担いただきます。**



ヒューマンフェスティバルでのセンター展のご報告

8月9日(土)、ひょうご・ヒューマンフェスティバル2025 in あまがさき(尼崎市記念公園ペイコム総合体育館)において、子ども多文化共生センター展を実施しました。県立尼崎工業高校のみなさんにもボランティアでご協力いただきました。ありがとうございました。

絵本で日本語を学ぶ

子どもの頃、絵本に出てくる登場人物のセリフを真似したりしているうちに自然と口から出るようになった経験はありませんでしたか。絵本を読むことで自然と身につく言葉もあります。例えば、センターにも所蔵がある元気な猫の男の子を主人公としたノンタンシリーズ(キヨノサチコ著)は1976年に登場しました。太めの波打つような線で描かれた絵は優しさを感じます。『ノンタンボール までまでまで』(キヨノサチコ著)は、タイトルのとおり「ボール までまでまで」というセリフが繰り返されます。このように簡単な言葉ですが、繰り返し見ること・聞くことによって、子どもたちもそのセリフを真似して自ら発してみることで獲得していくのでしょう。毎日の日本語指導の中で、絵本の活用も効果があります。当センターにはノンタンシリーズをはじめ、いくつかの絵本を所蔵していますが、公立図書館にも種類・数が揃っていると思います。当センターやお近くの図書館で素敵な絵本を探してみてはいかがでしょうか。



子ども多文化共生センター 芦屋市新浜町1-2

TEL: 0797-35-4537 FAX: 0797-35-4538 E-mail:mc-center@pref.hyogo.lg.jp

ホームページから様々な情報を発信しています。 <http://www.hyogo-c.ed.jp/~mc-center/>

外国人児童生徒の支援、子ども多文化共生教育に関わることなどについて、お気軽にご相談ください。